

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月22日

計画の名称	磐田市における住宅セーフティネットの構築と住環境の向上（地域住宅計画）													
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	磐田市													
計画の目標	良質な住環境が整備された市営住宅ストックの維持形成を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		34	A	34	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (H32末)
1	高齢者や障害者に配慮した市営住宅戸数の割合を上げる。 事業の実施状況をもとに算出する。 (バリアフリー化している市営住宅戸数) / (市全体の市営住宅戸数)	15%	%	25%
2	長寿命化工事が実施された市営住宅戸数の割合を上げる。 事業の実施状況をもとに算出する。 (外壁改修が実施された市営住宅戸数の割合) / (建築後15年以上が経過した、RC造の集合型市営住宅戸数)	0%	%	7%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
(地域住宅計画)												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	磐田市	直接	磐田市	-	-	公営住宅等整備事業	市営東大久保団地の整備(30戸)	磐田市						0		策定済	
	A15-002	住宅	一般	磐田市	直接	磐田市	-	-	公的賃貸住宅家賃低廉化事業	市営東大久保団地(48戸)	磐田市						34		-	
	A15-004	住宅	一般	磐田市	直接	磐田市	-	-	公営住宅等ストック総合改善事業	市営北野団地の外壁改修(1棟)	磐田市						0		策定済	
											小計							34		
											合計								34	

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H28	H29	H30	H31	R02					
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
地域住宅計画に基づく事業	C15-001	住宅	一般	磐田市	直接	磐田市	-	-	駐車場整備事業	市営東大久保団地への駐車場整備	磐田市							0	-		
		市営東大久保団地2棟30戸分の駐車場を整備することで、住宅の利便性を高め、住環境を向上させる。																			
												小計							0		
											合計							0			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
磐田市建設部公共事業評価審査委員会に諮り実施	令和4年3月
	公表の方法
	磐田市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市営東大久保団地B・C棟の整備計画を休止しているため、事業効果の発現状況について評価できない。 ・市営北野団地屋上防水・外壁改修の事業計画を令和4年度以降に延伸したため、事業効果の発現状況について評価できない。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・公的賃貸住宅家賃低廉化事業（市営大久保団地A棟18戸）により、住宅に困窮する低額所得者等の居住の安定化を図ることができた。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅の需要動向に注視し、良質な住環境が整備された市営住宅ストックの形成を図る。 ・長寿命化計画に基づき、延伸した市営住宅の屋上防水・外壁改修等の計画的な維持修繕を実施していく。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	（バリアフリー化している市営住宅戸数） / （市全体の市営住宅戸数）（％）	
	最終目標値	25%
	最終実績値	15%
2	（外壁改修が実施された市営住宅戸数） / （建設後15年以上が経過した、RC造の集合型市営住宅戸数）（％）	
	最終目標値	7%
	最終実績値	0%

財政面や市営住宅の需要動向から、市営東大久保団地B・C棟の整備計画を休止しているため。

新型コロナウイルス感染予防対策に係る予算配分の見直しにより、市営北野団地屋上防水・外壁改修の事業計画を令和4年度以降に延伸したため。